

「SOYSH」、「SOYJOY」好調

大塚製薬(株)(東京都千代田区)は、大豆炭酸飲料「ソイッシュ(SOYSH)」を販売している。自社通販(オオツカ・プラスワン)のみで2010年7月から販売していたが、昨年3月からは店頭での販売が始まった(1本(100ml)105円、30本3,150円)。06年から販売する「ソイジョイ(SOYJOY)」に続く「ソイリユーション(Soylution)」というテーマを元に開発された製品。ソイッシュ1本(100ml)中には、約21粒分(国産大粒大豆換算)の大豆を含有し、豆乳や豆腐では取り除かれてしまうおから成分まで大豆の栄養をまるごと摂ることができる。

同社独自の処方によって、「大豆液と炭酸を混ぜると凝固する」という特性を超え、炭酸のさわやかさで、大豆特有の後味を気にせず“手軽に”“美味しく”飲める飲料として開発された。自社通販のみの販売にも関わらず発売7か月後には200万本を突破し、店頭販売後も製品育成を続け、その後も好調に推移している。

フルーツ大豆バーの「ソイジョイ」

は現在日本では12種類を展開する。日本を含めて現在は中国、米国など11カ国・地域で販売して好調という。

同社は、健康問題、食糧問題、環境問題の解決に大豆食が鍵を握るとして「ソイリユーション(Soylution: Soy大豆+ solution 解決)」をテーマに、大豆を用いた製品開発・提案を行っている。「日本では昔から大豆を良質なタンパク源として様々な加工をして食してきました。いま欧米でも健康という側面から大豆に注目が集まっています。大豆の栄養をあますところなく美味しく手軽に摂れる製品を開発・展開し、世界中の方々に提案していきます」という。



ソイッシュ(SOYSH)

バラが香るプロ仕様美容ドリンク

エステプロ・ラボ(東京都港区、0120-911-854)では、ダマスクローズテイストのプロ仕様美容ドリンク「ヒアルロゼ マイクロプロフェッショナル」(50ml×10本:6,800円)を販売している。エステティック、SPAなどのサロン専売品。

同品は肌の艶と潤いに着目し、28種類の美容成分を厳選した。高い保湿力を持つ低分子ヒアルロン酸を200mg、低分子サーモンコラーゲンを1000mg配合、シアル酸を含有する燕の巣エキス、高純度のエラスチンなども配合。また、

1本あたり1200mg使用しているブルガリア産のダマスクローズウォーターが高級なバラの香りを放つ。保存料、安息香酸、合成着色料不使用でノンカフェイン。



ヒアルロゼ マイクロプロフェッショナル

シルクフィブロイン含有サプリ 短・長期間の臨床データ、医療分野も注目

ドクターセラム(株)(東京都渋谷区、03-5728-8825)は、東京農業大学・長島孝行教授と共同開発したサプリメント『セラム-シルクフィブロイン』を販売する。主原料のシルクフィブロインは、シルクに含まれるセリシンを除いた不純物を含まないフィブロインタンパクのみを特殊な製法により抽出したもの(製法特許)。①優れた吸水性多孔性(ナノレベル微細構造)、②体内の余分な脂肪を吸着し体外へ排出する、③乳化した状態で体外へ排出するため便秘予防も期待できる—などの特長をもつ。

同社では、発売当初より機能性データの蓄積を推進。1,451人を対象に実施した1ヶ月間の臨床データを持つ。メタボリックシンドロームに関わる中性脂肪値、HbA1c値、血糖値、コレステロール値など9項目すべてで改善効果を確認した。また、日本人間ドッグ学会が

定める基準値を用いた統計解析でも同様な結果を得ている。特に、コレステロール値、中性脂肪値、血糖値、HbA1c値は、基準値外の被験者をレベル1(要注意)、レベル2(異常)と分けてみると、基準値より外れるに従って、顕著な改善効果がみられた。

さらにⅡ型糖尿病患者を対象に6ヶ月実施した臨床試験でも数値改善を確認。短期間、長期間でも改善効果が期待できることが示唆された。これら研究成果は、「日本野蚕学会」「国際統合医学会」などで発表しており、メタボ予防食品として医療関係者からも関心が高まっている。

今後、同社では医療法人社団 博心厚生会 九段クリニック・阿部博幸理事長と共同で、免疫不全におけるシルクフィブロインの作用について臨床試験を開始する計画だ。

1日に必要なリコピンを1カプセルで

スターシステムズ(株)(東京都港区、03-5774-4070)はこのほど、リコピンを主成分とするサプリメント「ライコマート plus リコピン」を発売する。1日1カプセルで1日の必要摂取量である15mgのトマトリコピンを摂ることができる。購入、問い合わせはメールで受け付ける(info@kantanbeauty.jp)

リコピンはトマトなどの中にある赤いカロチノイドで、強い抗酸化作用を持つ。リコピンを摂取することで肌を紫外線から防御する作用や美白作用も明らかになってきている。

原料のリコピンには天然のトマト抽出物で、世界的なメーカーであるライコレド社の製品を採用。同社のトマトリコピン複合体「ライコマート」にはリコピンの他にもβ-カロテン、フィ

トエン、フィトフルエン、トコフェノールなどの植物栄養素が含まれている。最新の研究によって、これらの抗酸化物質と相乗作用関係によってリコピンの活性が高められることが示されている。

紫外線への抵抗性が高いことから、経口摂取によるスキンケアが可能のため、積極的に運動する女性にも最適で、フィットネスクラブなども対象に広く拡販していく。



ライコマート plus リコピン

日仏の共同研究や、美容・育毛効果を発表

(株)東洋新薬(本社:福岡県博多区/広報室:東京都千代田区、03-5501-7788)は、昨年11月25日、都内で「第3回フラバンジェノール研究会®」(後援:フランス大使館科学技術部、九州地域バイオクラスター推進協議会)を開催した。

冒頭、在日フランス大使館科学技術部産業技術イノベーション特別任務官のMr Jacques MALEVAL氏が登壇。「共同研究を通じて、フラバンジェノール®の新たな学術的知見を見出していきたい」と挨拶を述べた。

続いて、トゥールーズ理工科学院のDr.Thierry TALOU氏がフラバンジェノール®の美容に関する研究成果について講演した。同氏は、同素材に抗酸化作用、メラニン生成抑制作用、コラゲナーゼ阻害作用があることを紹介。「フラバンジェノール®に含まれるプロシアニジンB1が深く関与していると可能性がある。また用量依存的に効果がみられる」と言及。さらに「レスベラ

トロール以上の抗酸化作用がみられた」と述べた。

福岡大学医学部皮膚科学教室主任教授の中山樹一郎氏は、「フラバンジェノール®の外用(塗布)による美容効果」と題して講演した。同氏は、同素材の外用により皮膚の血流が改善し、くすみなどの諸症状へ効果をもたらすことが示唆された研究成果や、美白作用を検証したものを発表した。

また育毛作用を検証した動物(もしくはマウス)試験の研究成果を紹介。育毛状態を6段階スコアにて評価した結果、内外併用群、塗布群、経口摂取群、コントロール群の順で高い数値を示した。同氏は「特に併用群において大きな改善がみられ、興味深い結果となった」と言及。「フラバンジェノール®は皮膚に浸透することが示唆され、臨床試験でも重篤な副作用はなかった。化粧品への応用にも今後、さらに期待できる」と述べた。